

いきもの広場

① ベッコウバエ



タヌキの糞に集まっていた。動物の死体や糞を好みます。はねに黒い斑点があります。

② カブトムシの幼虫



今年、ふ化した幼虫です。腐葉土をたくさん食べ 2 回脱皮をして、この姿のまま冬を越します。

③ アカタテハの終齢幼虫



カラムシの葉を2つに折って、まるでカシワモチのような巣を作ります。アカタテハは成虫で冬を越します。

これからの季節は成虫に出会えるかもしれません。

④ コバネイナゴ



体の側面に、こげ茶色のスジが入っているのが特徴なバッタの仲間です。チカラシバの上で交尾をしていました。(下：メス 上：オス)

⑥ クロアゲハの終齢幼虫



緑色の終齢幼虫になる前は、鳥のフンに似せた姿で擬態しています(右)。

⑤ ジョロウグモ



メスはオスよりも、体が大きいです。交尾をする今の時期は、メスの巣にオスが一緒にいる姿が見られます。

ハナタデの花が咲いています

広場内には、薄桃色の小さな花が色づいています。秋に咲くハナタデです。リスの小径内にも咲いており、キタヤマドリがついばむ姿が見られます。動物たちも秋を感じているようです。

